

地域産業委員会

令和2年9月24日

地域力推進部 資料10番

所管 地域力推進課

令和2年度



©大田区

18色の特色ある地域づくり



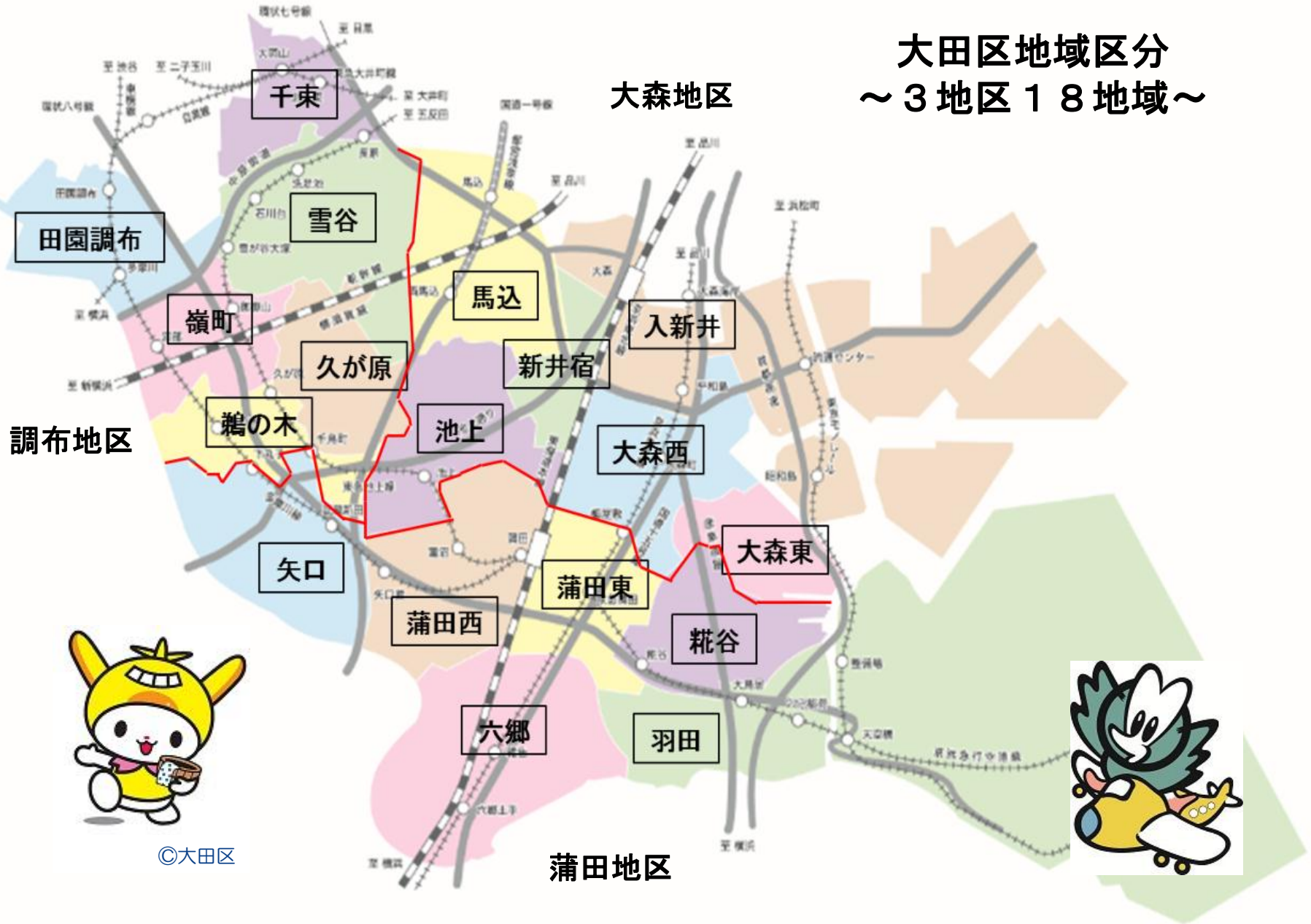
18地域（特別出張所管内）の取組事例です。それぞれの取組を参考に地域でご活用ください。



大田区 地域力推進部

令和2年9月

大田区地域区分 ～ 3地区 18地域～



©大田区



■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 第9回いつつのわふれあい祭り

10月27日(日)に大森東地区の連携を深め、地域の魅力を発信する「いつつのわふれあい祭り」が開催されました。今回で9回目を数え、当日は過去最高の約8,200名の来場がありました。今回は大森東地区の特色である“海苔”に関する資料展示や販売の他、ブラジルサンバ隊のパレードもあり、大いに会場が賑わいました。

※「いつつのわふれあい祭り」は18色の国際都市事業としても開催されました。



■地域防災の活動(令和元年度)

学校防災活動拠点訓練

大森東地区管内の小中学校(大森第四小、中富小、大森第一中、大森東中)は、「避難所機能」とともに、「情報拠点」と「地域活動拠点」の機能を併せ持つ学校防災活動拠点です。毎年、各拠点で訓練を実施しています。なお、2月には大森東地区全体の防災力の向上を目的とした大森東地区防災全体会議を開催し、台風19号の振り返りをはじめとする課題の共有を行いました。



大森第四小



中富小



大森第一中



大森東中

2 大森東地区自治会連合会合同防災訓練

地域の防災意識向上を目的に大森東地区自治会連合会合同の防災訓練を9月29日(日)に実施しました。情報機器操作確認、初期消火、心肺蘇生法等の実践的な訓練の他、今年は子ども向けにクイズコーナーも設けて幅広い年齢の方に参加いただきました。最後に市民消防隊による操法訓練で締めくくりました。



■18色の国際都市事業(令和元年度)

地域のお祭り「いつつのわふれあい祭り」にバキスタン料理の屋台が出店した他、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成に向けて、ブラジルサンバ隊も参加しました。多くの来場者が多文化に触れる機会を楽しむ様子が見られました。



ブラジルサンバ隊パレードの様子

■18色の緑づくり(地域の花)の取組

大森東地区の花は、春まき「ペチュニア」、秋まき「キンセンカ」です。地域力推進委員会の分科会委員や自治会から推薦された協力事業員が大切に育成し、地域のいたるところで美しく咲きほこりました。令和2年度も花の育成を通じ、人と人とのつながりを大切にできる大森東の地域づくりを進めていきます。



ペチュニア



キンセンカ

【地域の魅力を紹介（大森東特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 「いつつのわふれあい祭り」パネル展

11月1日（日）、2日（月）に大森東自治会連合会主催の地域の一大イベントとして定着した「いつつのわふれあい祭り」のこれまでの歩みを迎えるパネル展を開催します。会場では過去9年間のパネル展示の他、大森東地区の海苔の歴史の紹介等も行い、来年度の記念すべき第10回開催に向けた気運醸成に取組みます。



2 大田区区民スポーツ祭り （いつつのわクリーン大作戦&ポッチャ体験会）

10月11日（日）大田区区民スポーツ祭りの地域会場である大森東特別出張所横の多目的広場にて、ごみ拾いに競技の要素を加えたイベント「第3回いつつのわクリーン大作戦」と東京2020のレガシー事業として区が普及を進めている競技「ポッチャ」の体験会を開催します。



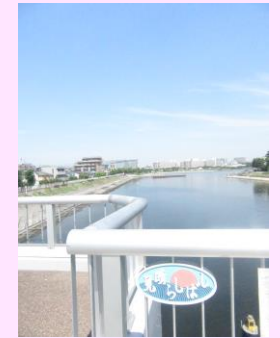
3 （仮称）大森東地区空育イベント

12月2日（水）（予定）に空港をより身近に感じると共に、新しく生まれ変わった空港跡地を知る空育イベントを開催します。内容は空港の魅力を紹介する展示の他、「羽田イノベーションシティ」、「羽田エアポートガーデン」の見学、紙飛行機の作成キットの配布等を行う予定です。

■まちの歴史や見どころ

まちの歴史

大森地区は江戸時代から昭和38年まで約300年間海苔の生産で質・量ともに日本一の座を保ち、それと共に発展してきた地域です。現在は、テクノFRONT 森ヶ崎をはじめ、日本の先端技術を担う町工場が集積しています。また、ドラマや映画などの撮影に最適なスポットがたくさんあり、数多くの作品に登場しています。



見晴らしばし

森ヶ崎公園サッカー場

令和2年4月に森ヶ崎水再生センターの屋上にある森ヶ崎公園の広場だった部分にJFA公認ピッチサイズの人工芝のサッカー場が完成し、「新スポーツ健康ゾーン」の中核施設としてリニューアルしました。



貴船掘歩道橋整備工事

区が推進している「海辺の散策路」の一環として貴船水門撤去後跡に歩道橋の整備工事を令和2年度内の完成に向けて進めています。完成後は、大森東地区から大森ふるさとの浜辺公園までが1本の散策路でつながる予定です。将来的には、多摩川までつながる予定です。



■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 第3回 ふる浜まつり

令和元年10月に大森ふるさとの浜辺公園で「第3回 ふる浜まつり」が開催されました。

大田市場直送の野菜販売やステージ、関係団体のご協力による模擬店など、秋のふる浜が大いに盛り上がりました。



2 大森地区リーダー講習会

令和元年度 大森地区リーダー講習会は5月26日から12月1日まで計8回（1泊2日の宿泊実習含む）実施し、青少対大森西地区が幹事を務めました。



年間テーマ「笑顔のキセキ」のもと、地域の小学5・6年生68人が参加しました。他校の児童や中学生以上のリーダーと体験学習を通して交流し、グループ活動におけるリーダーとしての技術を学びました。

■地域防災の活動（令和元年度）

マイ・タイムライン講習会

令和元年7月に大森西特別出張所で「マイ・タイムライン講習会」を開催しました。参加した皆様は、風水害時における災害リスクの理解を深めるとともに、マイ・タイムライン（個人の避難計画）を作成しました。



■18色の国際都市事業（令和元年度）

令和元年11月に区民活動支援施設大森（こらぼ大森）で開催された『ポレポレECOまつり（子ども交流センター主催）』において国際都市おおた大使（来～る大田区大使）2名にご参加いただきました。

中国の近代的スポーツ「ジェンズ（カラフルな羽根を蹴るゲーム）」やインドネシア版「けんけんぱ」に多くの子どもたちが参加し、楽しみながら外国の文化に触れる貴重な機会となりました。

■18色の緑づくり（地域の花）の取組

大森西地区の花は「コスモス」と「菜の花」の2種類です。

地域の皆様に種まきからご協力いただき、春には黄色の「菜の花」が、秋にはピンク・オレンジの「コスモス」がまちを彩り、季節を感じることができます。

出張所へ来られた方が花の種をお持ち帰りできるよう、窓口にも用意しています。



【地域の魅力を紹介（大森西特別出張所）】

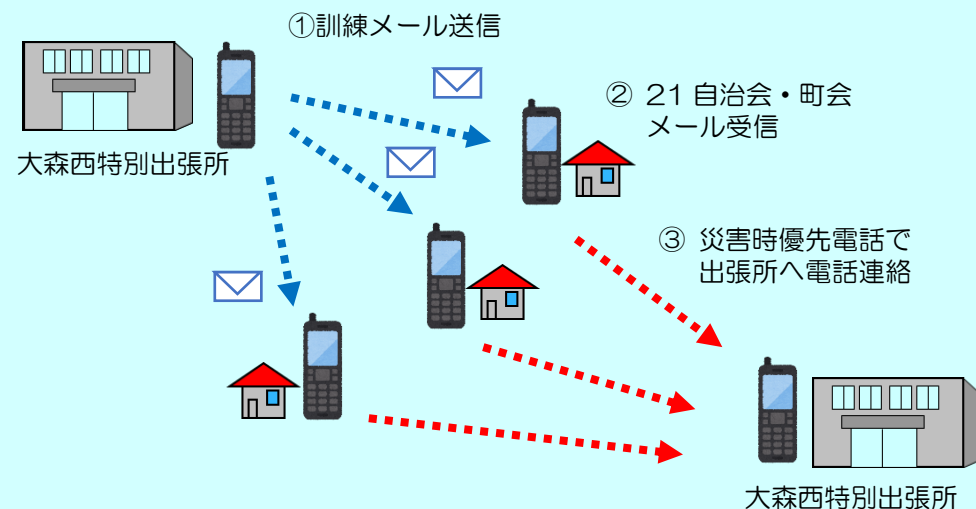
■地域の活動（令和2年度）

新たな通信訓練の実施に向けて

大森西地区では、出張所と21自治会・町会間で毎月、トランシーバーを利用した通信訓練を行っており、令和元年12月で丸2年が経過しました。この訓練により、出張所と自治会・町会間の連携が強化されるとともに、拠点メンバーのトランシーバー操作技術が向上するなど、一定の成果を得ることができました。

トランシーバーを活用した訓練は学校防災活動拠点訓練で継続しつつ、今後は新たに配備された災害時優先携帯電話を活用した通信訓練に切り替えることにより、地域防災力を強化していきます。

【新たな通信訓練のイメージ】



■まちの歴史や見どころ

「諏訪橋」架替工事完了

内川にかかる「諏訪橋」は、緊急道路障害物除去路線に位置づけられている橋梁です。

大地震発生時においても、交通ネットワークとしての機能を確保するため、平成30年10月から架替工事が行われていました。

この度、新たな「諏訪橋」が完成して令和2年7月1日から全面通行が可能となり、地域の安全・安心が一層高まりました。



架替前



車道が広がり
歩道の段差も
解消しました



架替後



まちの風景が
新しくなり
ました



■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 入新井盆踊り大会【7月14日(日)、15日(祝)】

「炭坑節」や地元民謡の「大森甚句」、東京2020大会を盛り上げる「東京五輪音頭-2020-」など様々な踊りに加え、入一小児童による「花笠音頭」、くすのき連による「阿波踊り」が行われ、2日間ともたいへんな賑わいを見せました。



盆踊りの様子



花笠音頭



阿波踊り

2 “社会を明るくする運動”入新井地区集会【7月4日(木)】

地区集会前半は、臨床心理士の方に、「発達障害のある方への理解」というテーマで講演を行っていただきました。後半は、大森第二中学校PTAの皆さんの協力のもと、社会を明るくする運動の応援歌である「ひまわりの譜」や季節の歌を来場者の皆さんで合唱しました。犯罪や非行のない社会の実現に向け、集会は大いに盛り上がりました。

■地域防災の活動(令和元年度)

防災力向上を目指し、各町会や町会合同で防災訓練を毎年実施しています。また、災害時に避難所を迅速に開設・運営できるよう管内の学校防災活動拠点で会議・訓練を実施しています。

学校防災活動拠点訓練



九町会合同防災訓練



座学訓練



開設訓練

■18色の国際都市事業(令和元年度)

入新井盆踊り大会に、多くの国際都市おおた大使に参加いただきました。大会当日に加え、事前の練習にも参加いただき、地域の方との交流を深めたほか、SNS等を通じた海外への情報発信を行いました。また、地区の日本語学校にもご協力いただき、多くの生徒が参加しました。



練習の様子



国際都市おおた大使

■18色の緑づくり(地域の花)の取組

令和元年度は地域の花を紹介するクリアファイルを作成し、地域のイベントで日日草の種とともに配布しました。今年度も春に日日草の種・苗を配布した他、秋に「パンジー」の育成講習会の実施や苗の配布を予定しています。



地域の花 日日草



育成講習会



クリアファイル

【地域の魅力を紹介（入新井特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 「入新井地区の歴史に関する分科会」の活動

入新井地区の歴史について、「学校」「交通」「寺社・花柳界」「住まい・商店街」の4つのテーマに分かれて調査・研究を進めています。活動の成果を区民ギャラリーに展示したほか、地域の歴史的名所を散歩マップに盛り込み「入新井歴史散歩マップ」として、とりまとめました。



区民ギャラリーの展示



入新井歴史散歩マップ

2 青少年対策入新井地区委員会の活動

青少年の健全育成のため、自然とふれあう農業生産体験活動、友情を深めあう、リーダー講習会など学校ではなかなか経験できないイベントを実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大抑止のため、多数のイベントが中止となっていますが、今後の状況を踏まえながら、活動をしていく予定です。



■まちの特徴や見どころ

1 まちの特徴

JRの線路を境に、まちの特徴が大きく異なります。大森駅の西側は、起伏のある地形で、日本考古学発祥の地である大森貝塚や、馬込文土村などがあり、歴史・文化的な地域となっています。一方で、東側は、臨海部まで平坦な土地となっており、駅前の商店街を始めとした、商業施設等の都市機能が集まる地域となっています。

2 清浦さんの坂

大田区は武蔵野台地の東の端にあたり、台地部に大小さまざまな坂道が走っています。大森駅西側にも、様々な名称がつけられた坂があり、その中で「清浦さんの坂」は、かつて第23代内閣総理大臣清浦圭吾の邸宅があったことにちなみ、名付けられました。



3 大森駅東口駅前広場

広場の交通島部分の暫定工事が実施され、令和2年3月から供用が開始されました。これまであった段差が解消されたほか縄文土器の文様を模したデザインが路面に描かれるなど、東口駅前の新たな顔となっています。



■ 地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 地域のおまつり

馬込地区では例年、4月初旬の馬込文士村大桜まつりをはじめ、7月の大盆踊り大会など、大人も子どもも楽しめる大きなおまつりが開催されています。昨年も各行事にたくさんの方が集まり、にぎわいを見せました。



青空のもと、4月7日に開催された第29回馬込文士村大桜まつり

2 青少対の活動



馬込は青少対活動も活発です。委員さんがしっかりと段取りをして、各種行事の当日には子どもたちの元気な声が聞かれました。

10月6日、馬込中学校で開催された第27回小学生ドッジボール大会は700人を超える参加者で大熱戦が繰り広げられました

■ 地域防災の活動(令和元年度)

1 町会の合同防災訓練

馬込では長年に渡り、19町会が9町会、5町会、3町会、2町会に分かれ、学校を会場に防災訓練を実施しています。昨年度も消防署、消防団、警察などの協力のもと、多くの住民が訓練に参加しました。

2 学校防災活動拠点訓練

管内7つの小中学校は災害時に防災活動拠点となります。もともと防災の意識が高い馬込地区。各校でまちの皆さんや区職員などが協力して避難所開設・運営を中心とした訓練を実施しました。



親子で消火訓練！
(6月2日に馬込第三小で行われた9町会合同訓練)



毛布・断熱シート体験！
(12月1日に行われた馬込第二小学校防災活動拠点訓練の様子)

■ 18色の緑づくり(地域の花)の取組

「ひまわり」、「日日草」、「シクラメン」が馬込のまちを彩っています。馬込文士村大桜まつり、子どもガーデンパーティー、日赤献血会では、ひまわりと日日草の種を配布しました。

また、栽培が難しいシクラメンは地元生産農家の協力のもと、花がついた状態で配布しました。



ガーデンパーティーでの種の配布



出張所花壇に咲く馬込産のシクラメン

【地域の魅力を紹介（馬込特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 新たな災害対策の取組み

震災のみならず、昨年の台風災害を教訓に風水害時の避難場所開設や感染症対策も含めた避難所の運営が急務となっています。

馬込地区では管内7校の各活動拠点で自治会・町会、学校、出張所が連携して災害時のマニュアル等の見直しを図り、いざという時は、いろいろな地域から避難されてきた方も受けとめられるよう、準備を進めています。



（参考）

生徒も参加して行われた令和元年度馬込中学校学校防災活動拠点訓練の様子

2 「来年こそは…」の思いを込めて

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、残念ながら自治会・町会、青少対をはじめとするほとんどの地域行事が中止となってしまいました。

しかし、こうした時だからこそ、一日も早く困難を乗り越え、地域が一丸となって、さまざまな活動が今までのやり方や「新しい生活様式」を踏まえ、再開できるよう準備を進めていきます。

■まちの歴史や見どころ

1 坂のまち

馬込は歴史が大変古く、縄文時代から人々が暮らしていました。非常に谷が多い地形は「九十九谷」とも言われ、かつては谷々に海が入り込み、魚や貝がたくさん採れました。「貝塚」という地名はその名残です。表情豊かな多くの坂道は昔ながらの風情あふれるまち馬込の代名詞となっています。



馬込の坂道（貝塚中から馬込特別出張所に向かう登り坂）

2 かつては馬の一大生産地

平安末期から鎌倉期にかけては馬の生産地として栄えました。起伏の多い馬込で育った馬は足腰が強く、鎌倉武士用の馬として重宝されました。ちなみに、馬込の「込」は牧場の柵に由来しています。

3 馬込文士村

大正から昭和にかけて、馬込には多くの文士・芸術家たちが居住し、集い、語り合い、執筆活動を行いました。こうした文化の香り高い一帯は「文士村」と呼ばれるようになりました。



龍子公園アトリエ（南馬込4丁目）

■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 池上まつり (池上地区まちおこしの会)

平成14年から毎年8月の最終日曜日に開催される地域最大級のお祭りです。昨年は8月26日に開催。約22,000名の参加者が、パレード・屋内外ステージ・バザー・模擬店・池上みやげ・職人づくし・抽選会を楽しみ賑わいました。



2 池上スポーツまつり・地域ふれあいコンサート (青少年対策池上地区委員会)

さまざまなイベントを開催し、青少年の健全な育成を図っています。



池上スポーツまつり



地域ふれあいコンサート

■地域防災の活動(令和元年度)

池上小・池上第二小・徳持小・大森第四中・蓮沼中学校の各学校で実施。地域の方や中学生が訓練に参加し、学校防災活動拠点の運営強化を図りました。



大森第四中学校の訓練の様子



■18色の国際都市事業(令和元年度)

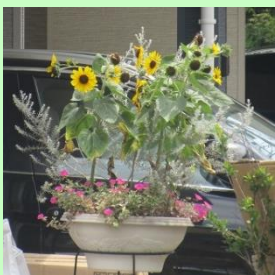
池上まつりにおいて、国際色豊かな9つの外国ブースが出店。「来〜る大田区大使」も初参加!



来〜る大田区大使ブース

■18色の緑づくり(地域の花)の取組

四季折々の花と緑が楽しめる池上。春から夏にかけて楽しめる地域の花として「ひまわり」(写真左)と「日野草」(写真右)を地域に広げています。自治会・町会を中心に配布し、地域のイベントでも配布し、町の彩りを広げていきます。



【地域の魅力を紹介（池上特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 池上地区まちおこしの会

池上地区を生き活きとした魅力的なまちにするために、全11自治町会も参加し、各部会に分かれさまざまな取り組みを行っています。



【防犯部会の青色パトロール車】
月間約10回パトロールを実施！
池上地区の安心安全に貢献



例年、完売の池めし



スポ GOMI 池上大会

2 池上地区民生委員・児童委員協議会

「おともだちあつまれ」や「ふれあい茶話会」を池上特別出張所で開催し、乳幼児の保護者や高齢者が身近に相談できる場となっています。



ふれあい茶話会



おともだちあつまれ

■まちの歴史や見どころ

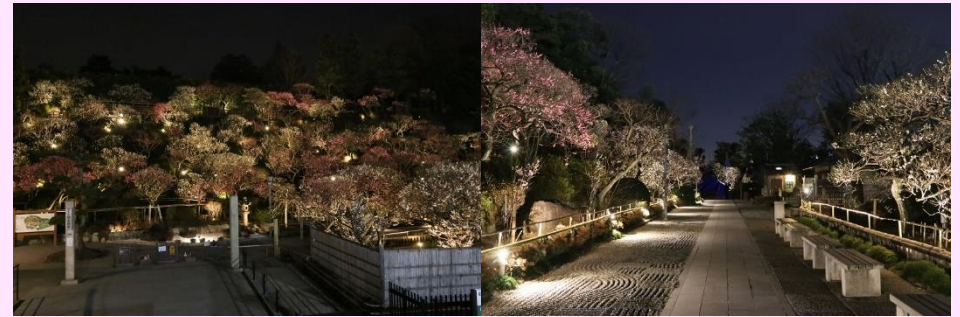
1 池上本門寺

日蓮宗の大本山である池上本門寺は、開祖・日蓮聖人の入滅の地。徳川秀忠が建立した関東最古の五重塔や、加藤清正が寄進した石段など、歴史上の人物にゆかりが深く、敷地にある松涛園は、江戸無血開城にむけて勝海舟と西郷隆盛の会見が行われたとも伝わっています。



2 池上梅園

2月の梅が有名ですが、春のツツジ、夏の紫陽花、秋の紅葉、冬のサザンカなど四季折々の花が楽しめます。また、梅の開花時期には、夜間ライトアップされ、夜空に浮かび上がる梅の花を楽しむことができます。



■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 新井宿地区連合運動会 令和元年10月27日(日)



2 福祉と文化と医療のまちの
スペシャルデー
令和元年11月3日(日)



3 大田文化の森夏祭り
令和元年8月2日(金)
3日(土)



顔が見える地域づくりを目指して、たくさんのイベントを行いました!

■地域防災の活動(令和元年度)

大田区総合防災訓練 入新井第二小学校・大田文化の森
令和元年12月7日(土)



住民のみなさんと行政が一体になり、オール大田で訓練を実施しました。

■青少年対策新井宿地区委員会(令和元年度)

落語を聞いてみよう
令和元年6月30日(日)



ソフトボール教室
令和2年2月9日(日)



例年行っている事業に加え、
二つの事業を新たに実施しました。

出張所前の花の様子



春まきの花「アサガオ」



秋まきの花「アリッサム」

■18色の緑づくり(地域の花)の取組

- ◆選定ポイント◆ 世代を超えて「親しみやすく育てやすい花」をコンセプトに選定しました。
- ◆育成講習会◆ 10月26日(土)に講習会を開催し、地域の皆様とアリッサムの育て方などを学びました。また、各種イベントや、出張所窓口でも種を無料配布し、新井宿の花として地域の皆様に育てていただいています。

【地域の魅力を紹介（新井宿特別出張所）】

■地域の活動

防災こどもまつり
(山王三・四丁目自治会)



真夏の雪まつり
(山王三丁目町会)



納涼祭
(中央一丁目町会)



すいか割り大会
(中央四丁目町会)



新井宿地区には8つの自治会・町会があります。
例年、防災訓練や夏祭りなど地域の絆づくりを
目指し、さまざまな工夫を凝らしたイベントを
開催しています。

焼き芋大会
(新井宿五丁目町会)



ウォーターランド
(新井宿六丁目町会)



防災訓練
(新井宿七丁目町会)



■まちの歴史や見どころ

大田区のへそ!

1 医療のまち

大森赤十字病院



大森医師会



2 福祉のまち

※地域包括支援センター新井宿は
出張所の2階です。

障がい者総合サポートセンター



地域交流カフェも
あります

新井宿福祉園



3 文化のまち

大田文化の森



龍子記念館



馬込文士村資料室
(山王会館1階)



■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

地域共生社会に向けた取組み

「福祉のまち“みねまち”」を目指し、地域ぐるみで、「障がい理解」のための取組みを始めました。理解促進に向けたワークショップを開催するなど、共生社会実現への取組みを推進しました。



→「大田区手をつなぐ育成会」のご協力により、知的障がいのある人の特性を理解するワークショップを開催
～みねまち生き生き安心プロジェクト～



参加者の手型を集めてロビーに掲示
～障がいのあるお子さんを応援～



「のぞみ園」の利用者等による
気迫のこもった和太鼓の演奏

■地域防災の活動(令和元年度)

地域一体で災害に備える(東調布第一小学校、東調布中学校他)

東調布第一小学校に拠点の一本化を図り、補完避難所の都立田園調布高校も含め、嶺町地区の学校防災活動拠点事業の強化に取り組んでいます。

令和元年度は12月7日に、本部員のイメージアップを図るため、避難所の立ち上げや情報通信訓練を実施しました。



避難所受付訓練の様子

■18色の国際都市事業(令和2年度予定)

◆ぐるっと5町会!
みねまちスタンプラリー

◆みねまちポールウォークの会

国際都市おおた大使との交流等を予定しています。「新しい生活様式」を取り入れ、安心して参加できるイベントを開催します。



平成30年度イベントの様子

■18色の緑づくり(地域の花)の取組

地域の花は、日日草とパンジーです。
各自治会・町会や近隣の施設(小・中・高校、保育園、児童館等)に苗を配布して、地域の花を増やす活動に取り組んでいます。



パンジー



日日草

【地域の魅力を紹介（嶺町特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 ポールウォークのまち「みねまち」

地域が一体となってフレイル予防に取り組むため、「みねまちポールウォークの会」を開催しています。少人数制にて、感染症対策を万全に行った上で、運動不足解消を図ります。



2 まちづくり推進委員会の活性化

嶺町地区の地域力推進委員会は「まちづくり推進委員会」として活動しています。昨年度末から、「地域の課題を解決する」場への転換を図り、テーマを決めて積極的な議論を行っています。



3 【在宅版】みねまち親子木工教室（青少対）

今年度は、東調布建築組合にご協力いただき、木工キットを希望者に配布し、自宅で小物入れを作ります。お子さんたちの完成品の写真は出張所ロビーに展示する予定です。



■まちの歴史や見どころ

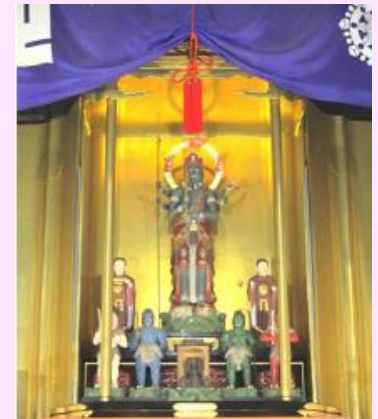
沼部の庚申さま

密蔵院（大田区田園調布南）の境内には、庚申堂（現在は金剛尊院と改称）が建てられており、その主尊の青面（しょうめん）金剛像は近隣の人々から「沼部の庚申さま」と呼ばれました。

明治時代には、多摩川で砂利採掘をした人が眼病を患い、当寺で祈願したことで、たちまち眼病が治ったと伝わります。



修復前の青面金剛像（部分）
『大田区の文化財第33集
大田区の美術工芸』より



現在の青面金剛像



密蔵院

手前には六郷用水が流れ、孝心橋（庚申橋）が架かっています。

協力：大田区立郷土博物館

■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 第12回 田園調布グリーンフェスタ

第12回は「地域に集う、誇りと絆、グリーンフェスタ」をテーマに、企画をしていました。令和元年台風19号の影響のため例年通りの企画は実施できませんでしたが内容を変更し、被災地域の復興支援を行いました。

食事の提供



支援物資の配布



「第12回グリーンフェスタ」は管内の復興と清掃活動を応援するささやかな催しとして開催されました。

2 地区内の自治会・町会への新規加入者に特典を進呈

自治会町会への加入率向上、防災備蓄率向上を目的に、新規加入者に対し加入特典の防災グッズを進呈しました。

特典の防災グッズ



■地域防災の活動(令和元年度)

田園調布小学校、調布大塚小学校、田園調布中学校を拠点に、防災訓練等を企画、実施しました。各学校多くの方々に参加していただき、防災意識向上につなげました。

防災講座(田園調布小)



初期消火訓練(調布大塚小)



トイレ設営訓練(田園調布中)



■18色の国際都市事業(令和元年度)

大田区在住の外国人(タイ国籍)の方を講師にお招きして、タイの文化の紹介をしていただきました。参加者は、タイティーの試飲、タイ舞踊等を体験しました。



■18色の緑づくり(地域の花)の取組

緑豊かな田園調布で、地域の花として春は「なでしこ」(写真左)、秋は「ビオラ」(写真中央)「プリムラジュリアン」(写真右)を育てながら、地域コミュニティの活性化を図ります。1年を通して季節の花を育成してきました。



なでしこ



ビオラ



プリムラジュリアン